

マリンバの音に思いを込めて つかんだ全国最高賞

宮の原小学校 添野 日向さん

「演奏中は緊張よりも楽しさの方が大きかった」と笑顔で振り返る添野さん。昨年10月に郡山市で開催された、第6回日本学校合奏コンクール2017全国大会ソロ&アンサンブルコンテストのソロ部門小学生の部で金賞を受賞するとともに、文部科学大臣賞にも輝きました。

添野さんがマリンバを始めたのは3歳の時。「とてもきれいな音だった」と、保育園に来たマリンバの先生の演奏に興味を持ち、姉や友人と一緒に教室に通い始めました。



「好きな曲を演奏できるので楽しい」と、毎日練習を欠かさない添野さん。今回のコンクールのために選



んだ曲も、「初めて聞いた時から、いつか演奏したい」と思っていた憧れの曲だった。難しかったけど演奏できて嬉しい」と、日々の練習に力が入りました。

「いろんな人に自分の表現したいことが届くように演奏したい」と話す添野さん。強弱の幅が広がるように体全体を使って精いっぱい演奏し、表情豊かな音を奏でます。「ずっとマリンバに関わっていくのが夢」と話す添野さんの今後の活躍に注目です。

今回のゲスト

ルオー ブノワさん
(フランス)



フランス出身。9年前から市内に在住し、フランス料理店を営む。フランスではパソコンに向かって仕事をしていたが、日本に来てから料理を修行し、現在に至る。日本の映画や書籍が好き。



外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました

今回のテーマは「日本酒」

宇都宮市内には、世界大会でも受賞するような素晴らしい日本酒の蔵元が複数あります。そのうち、今回は井上清吉商店(白沢町)に訪れました。フランスではワインがとても好まれているので、日本のワインともいえる日本酒がどのように作られるのか、とても興味がありました。

実際に作業を手伝ってみると、思いの外たくさんの工程を手作業で行っていて、とても重労働でした。しかし、手作業で行うことで、お米を直接感じ、状態がよく分かるので、その日のコンディションに合わせた微妙な調整を行うことができるそうです。

宇都宮は水がとてもおいしく、また市内や県内から質の良いお米が手に入るのので、オール栃木で地酒を作っているそうです。世界で認められる日本酒が、ここ宇都宮で作られているなんて、うれしくなりました。

日本酒の種類もたくさんあるようです。皆さんもお気に入りの一つを見つけてみませんか。



1代表取締役の井上裕史さんから説明を受けるブノワさん 2蒸し上がったお米を運びます 3澤姫大吟醸 真・地酒宣言 4澤姫純米にごり酒。

「日本酒」について、2月11日(日・祝)午前10時30分~10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

◎人・農地プランの登載希望の方へ 平成29年度下期の見直し申請を受け付けています。「人・農地プラン」に新規登載・変更・削除を希望される方は、農業企画課☎(632)2473へご連絡ください。また、「人・農地プラン」の「地域会合」を開催いたします。詳しい日程や場所は、市庁舎をご覧ください。